

## 松原市公共施設等総合管理計画（素案）に係るパブリックコメントの実施結果について

### ○意見提出期間

平成27年4月14日（火）から平成27年5月13日（水）

### ○意見提出方法

郵送、ファクシミリ、電子メールまたは直接持参

### ○意見提出状況

・意見提出者 4名 ・意見総数 8件

### ○意見の内訳と対応

- ・意見の趣旨等が既に素案に盛り込まれているため、素案のとおりとしたもの 5件
- ・意見の反映はせずに、素案のとおりとしたもの 1件
- ・素案に直接関連がないため掲載しないもの 2件

### ○実施結果

パブリックコメントを実施した結果、本計画（素案）についての変更点はありません。

### ○公表の方法

市ホームページ、市役所1階情報コーナー及び企画政策課窓口

提出された意見の概要と、それに対する市の考え方は以下のとおりです。

○意見の趣旨等が既に素案に盛り込まれているため、素案のとおりとしたもの

	意見の概要	市の考え方
1	使わない公共施設を建てるのではなく、「まずは既存の箱物を使う」という観点で考えて欲しい。	本計画（素案）においても、既存の施設の有効活用を図ることは、今後、施設を整備・更新していく上での前提として、捉えています。
2	災害時に本当に公共施設を利用できるのか。それには、日常的に使うことが一番大切であるとする。地域に寄与できることも念頭に置き、本当に市民一人一人に役立てられるのか、考えて欲しい。	避難場所については、小学校や公園など公共施設等を中心に指定しており、それらは日常から利用されている施設です。また、避難場所となっている公共施設については、本計画（素案）を踏まえて、災害時にも利用できるよう今後も耐震化や長寿命化を図っていきます。
3	長寿命化と縮減の必要性は理解できるが、将来的な更新費用のシュミレーションの精度については疑問がある。既に高経年化している施設を今から予防保全して、どこまで長寿命化できるのか。特に、コンクリート躯体は大丈夫か。また、比較的新しい建物についても、これまで以上の維持管理コストを計上しているのか。	本計画（素案）のシナリオは、一定の条件を基に、特に経費が膨れ上がる大規模改修・建替え更新費用の試算を行い、将来の見通しを検討したものです。ご意見のとおり、実際に建築物が物理的に耐えられるかどうかは、個別に詳細な調査が必要になります。今回の試算は、総務省のホームページで公開されている更新費用試算ソフトを活用し、施設類型、築年数及び延床面積等に応じた更新費用が試算されるシュミレーションを採用しています。
4	今後、公共施設を予防保全していくに当たり、費用だけでなく、マンパワーが必要だと思うが、その点の実現性はどうか。	本計画を推進していくためには、庁内の横断的な体制を整備していくことが必要となります。予防保全の取組については、予算措置等の費用面だけではなく、各公共施設等を定期的に点検や修繕を行っていく必要があるため、人員配置も考慮した上で、検討していくことが必要であると認識しています。

5	<p>施設の縮減のためには、複合化がカギになると思う。学校施設が中心になってくると思うが、各担当部課の連携を行うために、庁内横断的な体制が重要であると思う。具体的な記載は無いが、強力な権限を有した体制作りが必要だと考える。</p>	<p>ご意見のとおり、学校施設については、年少人口の減少が見込まれるため、施設の複合化が重要になると認識しています。その中で、庁内の横断的な体制整備を検討し、また、情報管理・共有化を推進し、本計画の推進を図っていきます。</p>
---	---	--

○意見の反映はせずに、素案のとおりとしたもの

6	<p>公共施設の削減ありきで考えるのではなく、安心して子どもを産み、育て働き続けることができる松原市にするために、本計画を撤回し、市民福祉・住民サービスを向上させるべきだと考える。</p>	<p>本計画（素案）は、公共施設やインフラ資産の長寿命化と施設保有量の最適化を基本方針としています。市民サービスを低下させないためにも、施設の統廃合や機能の複合化による総量の抑制を図ることにより、その更新費用を縮減して、次世代に負担がかからないようにする必要があります。</p>
---	--	---

※直接本計画（素案）と関連のない意見については、掲載しておりません。